



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2011~2012年度
国際ロータリーのテーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
2011~2012年度
RI会長 カルヤン・ハネルジー

創立：1980年(昭和55年)1月10日
幹事：高須 洋志
長：馬場 将嘉
クラブ広報委員長：関谷 俊征
例会日：毎週木曜日PM12:30~
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1545回例会

2012年4月5日(木) 晴 第35回

~雑誌月間~

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

司会：伊藤豪会場副委員長
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」

会長挨拶

高須洋志会長



海賊が歴史に登場したのはギリシャローマの時代です。アリストテレスの著書『政治学』には漁師などに並び、海賊も1つの職業として紹介されています。但し、現在の私達が考える海賊とは少し違い、初めから略奪や強奪を目的とした集団ではありませんでした。船で交易し、交易条件が整わない場合に争いとなり、相手を打ち倒して物を奪っていくので、結果的に海賊行為になったのです。中世の海賊と言えば北歐のノルマン人による『バイキング』が有名で、これは海外貿易や海外進出を目的としたものでした。バイキングが活躍した8~10世紀頃、外洋までは人の手で漕ぎ、外洋に出ると帆を張り、風を利用して遠洋航海する技術と世界最高水準の軽工業が発達していました。船と技術を持ち、海外での交易相手を求め、西ヨーロッパや北米・ニューファンドランドまで進出していました。バイキングは航海先に定住したり、基地を作っていたので、何世紀もすると現地の人と融合し、北歐がヨーロッパ民族形成のベースとなったと言える部分もあります。バイキングの後、『大航海時代』と呼ばれる、船による世界進出が盛んな時代が来しました。有名なヴァスコ・ダ・ガマ、コロンブス、マゼランはこの時代に活躍しました。ヴァスコ・ダ・ガマは喜望峯を通過してインドへ行きました。コロンブスは逆回りで大西洋を渡り、アメリカ大陸に到着しましたが、当時まだアメリカ大陸が知られておらず、西インド諸島とされていました。実際にアメリカ大陸を発見したのはアメリカという人で、アメリカの名前の由来となりました。もしもコロンブスが最初の発見者だと認定されていれば、アメリカ大陸はコロンビア大陸となったのかもしれませんが。コロンブスはイタリアに生まれ、ポルトガルに籍を置き、スペインから出帆し、略奪した多くの財宝を国に持ち帰ったため、大歓迎を受けます。略奪や殺戮を行いつつも英雄として迎えられたコロンブスと海賊との違いは何だろうかと思えます。当時、海賊船による商行為や海外進出は、海軍力の弱い政府にとって非常に貴重な戦力だったため保護されていました。私掠船に外国船や船籍不明船と争った場合、略奪を許可する政府発行の私掠勅許状を与えました。大航海時代に制海権を持っていたのはポルトガルやスペインでしたが、イギリスの海賊を主戦力としていたイギリス海軍がスペインの無敵艦隊を破りました。イギリスの海賊で有名なのはフランシス・ドレークです。彼が略奪したスペイン船にはイギリスの国家予算より多い財宝が積まれていたそうです。この功績により、エリザベス1世からサーの称号を与えられ、その後イギリス艦隊副司令官になりました。海賊出身の彼が海軍の上位の位に就き、彼の指揮下でスペインの無敵艦隊を破ったのです。しかしイギリスが紳士の国であると自認するようになり、当時カリブ海辺りを荒らし回っていた海賊をイギ

リス軍艦が取り締まるようになりました。その歴史をパロディーで描いているのがジョニー・デップ主演の映画『パイレーツ・オブ・カリビアン』で、なかなか皮肉の効いた面白い映画だと思えます。国というものは発展段階では略奪行為を歓迎する時期があり、その後紳士の国になった途端に法を守り、略奪行為を行ってはいけなくてガラリと方向転換します。また個人が個人を殺すと殺人罪ですが、国家が命令して大量殺戮を行うと英雄になります。何が正義なのか、非常に考えさせられる問題です。

ニコボックス

平野哲始郎ニコボックス委員

- ・4月1日は結婚記念日でした。 **亀井 直人さん**
- ・3月25日は妻の誕生日でした。台湾へ行って忘れてしまいました。ごめんなさい。 **堀 慎治さん**
- ・本日の卓話は副委員長長の松井先輩にお願いしました。久々の松井節です。背筋延ばして聞いて下さい。 **岡村 達人さん**
- ・孫娘が瀧中へ通う事になりました。やれやれ! **高村 博三さん**
- ・4月28日は結婚記念日です。たぶん27回目位だと思います。 **関谷 俊征さん**
- ・今週は桜が満開です。皆さん、花見で風邪を引かないように! **市岡 正蔵さん**
- ・本日、息子2人が新しい保育園に入園しました。 **鈴木 淑久さん**
- ・ロータリーバッジを忘れました。先週の研修会を早退しました。 **八木沢幹夫さん**
- ・桜はまだですか? **内田 久利さん**
- ・先日は盛大な歓迎会を開催いただき、ありがとうございました。 **広瀬 弘幸さん**
- ・桜が咲きました。 **宗宮 信賢さん**
- ・先日は盛大な歓迎会を開いて頂き、ありがとうございました。皆様の温かいお心遣いに感激致しました。 **山本 英雄さん**
- ・先日、西本さんに大変お世話になりました。また、昨日大嶽さんにもお世話になりました。 **松波 恒彦さん**
- ・本日は岡村委員長の命令で卓話をする事になりました。皆さん、どうぞよろしくお祈りします。 **松井 善則さん**

委員会・同好会報告

遠山堯郎地区大会幹事

地区大会記録誌が完成しました。本日お手元に届くと思えますので、是非ご覧下さい。尚、地区内には既に発送済みです。

高須洋志地区東日本大震災プロジェクト副委員長

4月3日~4日に地区東日本大震災プロジェクトとして、1937年創立という由緒ある仙台RCへ行き、バナー交換を致しました。

4月誕生日おめでとう

近藤 茂弘さん 山本 英雄さん 稲垣 豊さん

会員68名 出席54名 (出席計算人数51名)

出席率 91.5%

3月29日は補填により 89.8%

幹事報告

馬場將嘉幹事

- ・本日13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第6回CA・第10回理事会を行います。
- ・次年度クラブ計画書及び会員名簿作成のため、『確認のお願い』を4月26日(木)までに事務局へご提出下さい。
- ・4月15日(日)はウエスティンナゴヤキャッスルにて地区協議会が開催されます。

卓話

松井善則さん

ロータリー情報とは？



ロータリー情報委員会とはロータリーの全会員に対し、その活動に必要な全ての情報や資料を提供する委員会だと思えます。その情報に基づき、会員ひとり一人がロータリーとは何かを考え、学ぶことであり、各人が考えた結論に基づき、正しい活動をする場所がRCだと思えます。羅針盤のない航海が危険であるように、ロータリー情報の乏しいRCは危ういと言わざるを得ないのではないのでしょうか。仮にロータリーを人体に例えるならば、ロータリー情報は「食物」と同じで、人間は食物を日常生活で正しく摂ることによってのみ、それが血となり肉となり、己の健康体が永く保たれるわけです。正にロータリー情報こそはロータリー活動の体力の源泉なのです。体力はそこから生まれるので、不足するとその組織は病弱になってしまいます。そこで1番大切な事は何でも食べてしまうのではなく、食べてはいけない物と食べなければいけない物があることをよく考え、食欲を満たさなければいけないということだと思えます。

人間は孤独の生活ができない群居の動物なので、人と人との関係が起ります。人と人との関係が起れば、自分の都合ばかりを考えているわけにはいきません。そこで群居の状態を良くする為に各自が人の為に役立つ事を考えなければなりません。人の為に役立つと言う事を英語で言うと『サービス』という言葉になるでしょう。この『サービス』という言葉にも異論がありますが、日本語で分かりやすく言うと『奉仕』ではないかと思えます。今後『サービス』という言葉が出てきたら、『奉仕』だと考えれば、ある程度理解することができると思えます。ロータリーはこのサービスをもって、人間活動の根本観念にしたいという運動だろうと思えます。その為には各自が他人の為になるように努力しなくてはなりません。サービスとは人間としての思いやりの精神と言えるでしょう。

ロータリアンとしての基本的な日常の活動を考えてみましょう。皆さんはそれぞれの企業に於いて、毎日頑張っていると思います。企業や職業の日常業務を行い、常に繁栄をもたらす為には『スクラップ アンド ビルド』が基本ではないのでしょうか。それはロータリー活動に於いても、同じ事が言えるのではないのでしょうか。経済界や社会など、我々を取り巻く環境はどんどん変化しているので『スクラップ アンド ビルド』が必要なのです。

次にロータリアンとなり、人生を送る時に必要な『五得』を申し上げます。『得』は納得の得です。

1. 好きな友を得る
2. 人の輪を得る
3. 教訓を得る
4. 心の悟りを得る
5. 天寿を得る

この五得と四つのテストに従えば、人と楽しく交わり、自分も平静な心でいられ、世間の人からも尊敬を得られるでしょう。

ロータリーに入会した動機はなんだと思えますか。色々な立派な人と知り合い、今までとは違う世界の人達の話の聞き、自己研鑽し、進歩していく機会に恵まれることが最初の魅力だと思えますが、なんとと言っても異業種交流だと思えます。異業種の人達が集まって議論すれば、今までに経験したものより多くのものを得ることができると思えます。そして段々ロータリーを理解していくと、自分なりに少しずつロータリーの本質が解り、自分なりのロータリー観が生まれてくると思えます。それがロータリーの無限の魅力に通じると思えます。

RCの我々に直接関係する組織を簡単にご説明致します。第1にRI(ロータリーインターナショナル)があり、次に地区(2760地区)があり、次に分区(名古屋西分区)があり、各RCがあります。この組織は決して上下関係ではなく、各RCの活動を定めるのはあくまでも各RCの自主的な判断によるものだと思えます。しかしロータリーの基本理念は変えることはできません。行事は世界大会が毎年各所で行われます。そして地区では地区大会、地区協議会が行われ、分区ではI.M.が行われています。ロータリーの日常活動に対しては、知識よりも体験だと思えます。

地区に出向するとはどういうことかについて、私が地区のRYLA(Rotary Youth Leadership Award)委員会へ出向した時の経験をお話しさせていただきます。10年前に地区の委員長をさせていただきました。地区に出向した最初は委員、次は副委員長、それから委員長を務めました。RYLAセミナーの時、第1に瑞穂RC会員の皆様に感謝し、実行委員の皆様に感謝し、RYLAセミナーに初めて幹事と共に宿泊して頂いた当時のガバナーに感謝していました。1泊2日のRYLAセミナーの命題は「こわい親父とやさしいお母さん」でした。セミナー前に一般参加者(平均25歳くらい)に下記のようなアンケートを取りましたが、結果は三河地方では「こわい親父とやさしいお母さん」、名古屋市内や尾張地方では「やさしい親父とやさしいお母さん」を選ぶ方が多かったです。

あなたが大人になったらどれを選びますか？

1. こわい親父とやさしいお母さん
2. こわい親父とこわいお母さん
3. やさしい親父とやさしいお母さん
4. やさしい親父とこわいお母さん

それぞれのRCより出向して頂いている委員の方々のご協力なくしてはセミナーは成り立ちません。委員会を度々開き、討論を通じて委員会が一丸となり、セミナーを開催するのです。その一丸となる課程で友人以上の関係になり、各RCに友人ができ、楽しく幅広いロータリー活動ができるのだと思えます。私が務めた翌年度はガバナー補佐経験者である安城RCの金子さん、その翌年度は大澤ガバナーの時に地区幹事を務めた豊川RCの岩瀬さんが委員長を務めました。本年度、岩瀬さんはガバナー補佐を務めています。セミナーの時に全ての委員の方々より、瑞穂RCの一致団結のすこさを褒められました。本当に感激したセミナーとなりました。特に豊田西RCの谷山さんには感謝しています。彼は本年度と来年度のRYLA委員長です。

私は出向によって大きなものを得ました。これは言葉では言い表せない程、多くの事柄です。是非とも新入会員から中堅会員になったら、1度は地区の委員会へ出向され、地区のロータリーを見て下さい。必ず自分自身の大きな進歩と成果が残るでしょう。

例会のご案内

■今週の卓話 4月12日(木)

卓話者: RI第2760地区ローターアクト直前代表
猪子知里さん
テーマ: カンボジアの子どもたちの現状

■次週の行事 4月19日(木) なごやか例会

■次々週行事 4月22日(日)

行事: 春の家族会
場所: Le BENKEI